

大阪公立大学大学院経営学研究科 教授

みやがわひさお
宮川壽夫

博士（経営学）



【連絡先】

大阪公立大学大学院経営学研究科・商学部（〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138 宮川研究室）

電話：06-6605-2240（研究室直通）／090-1775-9471（携帯）

E-mail：miyagawa@omu.ac.jp

URL：<http://miyagawaseminar.com/>

【専門分野・研究分野】

コーポレートファイナンス理論の実証研究

企業価値と経営戦略、利益配分、組織の経済学、コーポレート・ガバナンス、株主と経営者の関係、株主構成、ESG、ソーシャルキャピタル理論、ファミリー企業等々

【学位・学歴】

筑波大学大学院ビジネス科学研究科博士後期課程修了 博士（経営学）

【主な職歴】

1985年4月 野村証券株式会社入社（営業部門、海外留学を経て投資銀行部門）。

2000年8月 米国トムソンファイナンシャル・コンサルティンググループに移籍。
シニア・ディレクター就任。

2007年10月 野村証券株式会社 IB コンサルティング部に移籍。
キャピタル・マーケット・インテリジェンス・グループリーダー就任。

2010年4月 大阪市立大学大学院（現大阪公立大学大学院）に専任講師として就任。

2010年10月 同大学院 准教授。

2014年4月 同大学院 教授。

2015年3月 ワシントン大学（University of Washington）客員教授を兼任。

2020年4月 一橋大学大学院客員教授を兼任（～2021年3月）。

その他上場企業の社外取締役、監査等委員を兼任。

【資格その他】

日本証券アナリスト協会検定会員（CMA）、国際公認投資アナリスト（CIIA）

経産省経営支援研究会委員、同省知的レポート作成委員、ビジネススコアリング委員等歴任

【著書】

『新解釈コーポレートファイナンス理論～「企業価値を拡大すべき」って本当ですか?』

(ダイヤモンド社) 2022年10月

『企業価値の神秘～コーポレートファイナンス理論の思考回路』中央経済社 2016年10月

『配当政策とコーポレート・ガバナンス～株主所有権の限界』中央経済社 2013年1月

『公平情報開示規則』野村インバスターリレーションズ 2001年5月

【主要論文】

「長期データから見る日本企業の資本効率と株主価値との関係」『資本市場』第456号、44-53頁(2023年8月) 資本市場研究会

「ファイナンス理論からみたPBRとROEの関係」『企業会計』第75巻、第8号、33-40頁(2023年7月) 中央経済社

‘How do firms attract the attention of individual investors? Shareholder perks and financial visibility’
Journal of Behavioral and Experimental Finance, vol.31, September 2021, 1-18

「株主優待と株価急落リスク」証券経済学会年報, 第55号別冊, 1-4-1 - 1-4-14, (2020年12月)

「ソーシャルキャピタル論から見たESG投資の効果」『資本市場』2019年3月

「株主優待が株価にもたらす独自効果」『証券アナリストジャーナル』2017年10月

「PBR1倍の非対称性に見える日本企業の低ROE問題」『証券アナリストジャーナル』2015年6月

「ROE重視は日本の企業価値を拡大するのか」『資本市場』2014年12月 他多数

メディア等では「なぜコーポレートファイナンスを学ぶのか?・その1～企業行動のミステリーに挑むために」

『ダイヤモンドオンライン』(2023年2月～3月連載) など多数

<https://diamond.jp/articles/-/318156>